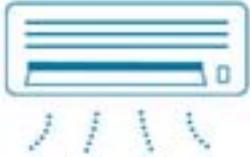


冬の「電気の手順な使い方」

この冬は、東京電力管内においては安定供給を確保できる見通しであるとの発表がありました。そのため、この夏のような数値目標は設けず、国民生活及び経済活動に支障を生じない範囲での節電が呼びかけられています。そこで、電気を効率よく使用し、より暖かく快適に過ごすための省エネポイントを紹介します。

暖房機器は、エアコン・こたつ・電気カーペット・電気ストーブなど種類によって暖まり方が異なります。寒い冬を暖かく過ごすために、機器を上手に選んで使用しましょう！

暖房機器	特徴	省エネのポイント
 <p>エアコン</p>	<p>部屋全体を効率的に暖めるには、エアコンが最適です。</p>	<p>エアコンの掃除はこまめに フィルターは、2週間に一度を目安に清掃すると、ホコリの目詰まりによる暖房能力の低下を防ぐことができます。</p> <p>カーテンやブラインドなどで冷気の進入をカット 日射がない時間に部屋を暖める場合は、カーテンやブラインドを閉めて、窓から冷気が入ってくるのを防くと省エネになります。</p> <p>風向きは下向きに 暖かい空気は上昇するため、効率よく部屋を暖めるにはエアコンの風向きを下向きにしましょう。また、扇風機やサーキュレーターで天井にたまりがちな暖気を循環させるとより効率的です。</p> 
 <p>こたつ</p>	<p>足元全体が暖まります。</p>	<p>機器本体と床との間に敷物を こたつの掛け布団は2枚 機器本体の下に断熱効果のあるマットなどを敷くと、熱が床下に逃げにくくなり、省エネになります。また、こたつは掛け布団を2枚にすることで、保温効果を高め、設定温度を低めにしても暖かく感じられます。</p>
 <p>電気カーペット</p>	<p>接触した部分から熱が伝わり、部屋の広さ・使い方にあわせて大きさが選べます。</p>	
 <p>電気ストーブなど</p>	<p>速暖性があり、温風暖房や輻射暖房など種類が多く、用途に応じて選べます。</p>	<p>機器を上手に選んで必要な暖かさを 電気ストーブ・パネルヒーター・ハロゲンヒーターなどは、短時間使用する寒い脱衣所やトイレなど、部分的に暖めたい時に活用することをおすすめします。</p>

広い部屋を暖める場合は、ヒーターよりエアコンの方が効率的です。

※右の表は定格消費電力の一例であり、実際の消費電力は、製品の種類、使用方法により異なります。

エアコン	450W(6畳用)
	750～1100W(10～15畳用)
電気カーペット	760～1000W(3畳用)
ファンヒーター	1150W
オイルヒーター	360～1500W
ハロゲンヒーター	1200W
電気ヒーター	800～1000W

無理のない範囲で節電をしながら、暖かく快適に過ごしましょう！